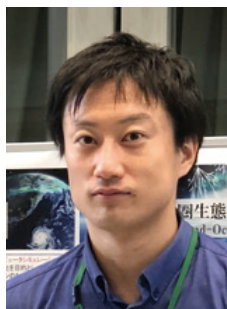


2019年度

新任教員の紹介



宇宙圏電磁環境
探査分野
准教授
栗田 怜

2020年3月2日、宇宙圏電磁環境探査分野に准教授として着任しました。東北大学で博士取得後は名古屋大学での研究生生活を経て、現職に至ります。

私の研究対象は主に、地球近くの宇宙空間です。宇宙空間は、非常に希薄な電離した気体(プラズマ)で満たされており、その中を、様々な種類の電波が飛び交っています。プラズマと電波が複雑に関係しあうことで、宇宙空間環境が大きく変化することが知られており、気象

衛星・GPS衛星などの障害につながる場合があります。宇宙空間での変動は、我々の生活に影響を及ぼす要因の一つとなりえます。私は、科学衛星で取得されたデータを解析することで、激しく変化する宇宙空間を理解することを目指して研究を進めてきています。

博士の学位取得後、データ解析の他に、我が国の科学衛星「あらせ」の機器開発現場をほんの少しだけ体験させて頂き、「宇宙空間をどう測るか」を考える重要性を実感しました。他所から頂いたデータ解析ばかりだった当時の自分にとって、自ら新しいデータを取る姿勢は新鮮で、あらせが打ち上げ後、宇宙の電波をはじめて

捉えたのを確認した場にいられたことは、良い思い出です。今後は、これまでのデータ解析の知見を活かし、宇宙圏電磁環境探査分野で行われている機器開発を推進し、今後の宇宙圏利用に向けた知見の集約を通して、研究所の発展に微力ながら貢献していきたいと考えております。今後とも宜しくお願い致します。



あらせが宇宙の電波をはじめて捉えたのを確認していた場面(栗田は一番右側、右から二番目は小嶋 浩嗣教授)。